

WIDE RANGE DODGEBEE COMPETITION

ドッジビーコンペティション
第2回関東大会 2014

実施報告書

平成 26 年 10 月 24 日



目次

1.	開催要項	_____	3
2.	参加チーム／人数 一覧	_____	4-5
3.	競技方法	_____	6
4.	最終成績	_____	7
5.	全体スケジュール	_____	8
6.	付帯イベント報告	_____	8-9
7.	講評	_____	10-13

別途資料

<全試合一対戦結果表>

お問合せは **日本ドッジビー協会 事務局**

住 所 : 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-46-302

T E L : 0 3 - 3 2 6 4 - 3 6 2 6

F A X : 0 3 - 3 2 6 4 - 3 6 2 7

Mail : support@dbja.jp

1. 【開催要項】

名 称	ドッジビーコンペティション 第2回関東大会 2014 (1964年東京オリンピック・パラリンピック50周年記念事業)
日 程	平成26年10月12日 日曜日
会 場	明治大学附属明治高等学校・明治中学校 体育館 調布市富士見町 4-23-25
主 催	日本ドッジビー協会
後 援	調布市 / 調布市スポーツ推進委員会 明治大学附属明治高等学校・明治中学校 明治大学体育同好会連合フライングディスク部 フリ-フライヤーズ
協 賛	京王電鉄株式会社 / 株式会社ヒーロー
種 目	ディスクドッジ/ゴールドドッジ/ドッジディスタンス (付帯イベント)
部門/資格	すべて性別は不問 ①ディスクドッジ 小学生低学年部門 / 小学校1~3年 ②ディスクドッジ 小学生部門 / 小学校1~6年 ③ディスクドッジ オープン部門 / 年齢不問 ④ゴールドドッジ部門 / 年齢不問
表 彰	各部門、優勝/準優勝/3位のチームへ対して以下を授与。 ・主催者(日本ドッジビー協会)より表彰状 ・協賛社(株式会社ヒーロー)より副賞としてドッジビーグッズ
参 加 賞	すべての参加者(選手登録者)に対して以下を贈呈。 ① = (株)ヒーローよりドッジビーメッシュバッグ ② = 京王電鉄(株)よりキャラクターグッズ ③ = 明治屋 ダージリンティー・マシュマロ

2. 【参加チーム／人数】一覧

最終集計値

	チーム名称	地域・属性	チーム主構成	人数（子ども）
①	小学生低学年部門	5 チーム		部門計 82
1	ファイヤースター	調布市	第三小	16
2	国領☆トパーズ	調布市	国領小	14
3	国領☆ハッチ	調布市	国領小	14
4	ウエストシックス Jr.	荒川区	尾久第六小	19
5	柏野アクセルアローズ	調布市	柏野小	19
②	小学生部門	22 チーム		部門計 342
1	三小ビースター	調布市	第三小	14
2	三日ファイターズ	荒川区	第三日暮里小	13
3	お茶小ペガシス	文京区	お茶の水女子大学附属小	13
4	ウエストシックス	荒川区	尾久第六小ほか	20
5	瑞光バタフライ	荒川区	瑞光小	13
6	国領☆弱くても勝てまS	調布市	国領小	18
7	国領☆ハイパーソニック	調布市	国領小	19
8	三小キッズ	調布市	第三小	16
9	イナズマスター	調布市	第三小	15
10	M. D. C	武蔵野市	クラブチーム	14
11	G u t s 柏木	新宿区	柏木小	16
12	尾久西ビクティニーズ	荒川区	尾久西小	14
13	ビクティニーズMAX	荒川区	尾久西小	14
14	柏野シューターズ	調布市	柏野小	13
15	トルネイド柏野	調布市	柏野小	16
16	武蔵野ハナミズキ	武蔵野市	土曜学校 連合チーム	15
17	vahul kids	埼玉県	川口市 芝西小ほか	19
18	稗原魂	神奈川県	川崎市宮前区 稗原小	13
19	犬蔵イレブン	神奈川県	川崎市宮前区 犬蔵小	17
20	邑楽町秋妻子ども会	群馬県	邑楽郡邑楽町 高島小	16
21	NDCそげキング	足立区	西新井第一小	19
22	麴町ファイヤーズ	千代田区	麴町小	15

チーム名称	地域・属性	チーム主構成	人数(計/小/大)
③オープン部門	6チーム		部門計 77
1 M. D. CチームA	武蔵野市	クラブチーム	12 5 7
2 M. D. CチームB	武蔵野市	クラブチーム	16 12 4
3 T T V	北区	ミックスチーム	16 10 6
4 N D Cベックマン	足立区	クラブチーム	12 2 10
5 染地・杉森トッチピチーム	調布市	ミックスチーム	10 7 3
6 十八兔	品川・川崎	社会人連合チーム	11 0 11

④ゴールドトッチ部門	5チーム		部門計 44
1 ガーザイパン	社会人	ミックスチーム	12 3 9
2 Happy Campers	社会人	アルティメットチーム	9 1 8
3 新城 style	高校生	神奈川県立新城高同好会	9 0 9
4 国際基督教大 WINDS LADY	大学生	フライングディスクチーム	7 0 7
5 明治大フリース	大学生	フライングディスクチーム	7 0 7

●チーム総合計 : 38チーム

●参加選手総数 545名
 内訳/子ども(中学生以下) 464名
 /おとな(中学卒業以上) 81名

●大会関係者総数 58名
 内訳/主要スタッフ 14名
 /大会審判員 24名
 /その他来賓等 約20名

大会関係者総合計 603名

●観戦・引率保護者数 約500名

大会関係者総合計約1100名

3. 【競技方法】

①【ディスクドッチ】小学生低学年部門

試合時間 : 1試合3分30秒を前・後半2セット

予選 : 5チームで構成した1リーグ総当たり戦

順位決定 : ①予選リーグ順位4位vs5位による4/5位決定戦

②予選リーグ順位2位vs3位による3位決定戦

③予選リーグ順位1位vs②の勝者による決勝戦

②【ディスクドッチ】小学生部門

試合時間 : 1試合3分30秒を前・後半2セット

予選 : 4-4-4-4-3-3チームで構成した6リーグ

フルドマッチ : 予選6リーグ各3/4位の10チームを3-3-4の3リーグにて実施

2次予選 : 予選6リーグ各2位の6チームを3-3の2リーグにて実施

予選6リーグ各1位の6チームを3-3の2リーグにて実施

順位決定 : 2次予選2位2リーグの各1位による7位決定戦

2次予選1位2リーグの各2位による3位決定戦

2次予選1位2リーグの各1位による決勝戦

③【ディスクドッチ】オープン部門

試合時間 : 1試合3分30秒を前・後半2セット

予選 : 3-3チームで構成した2リーグ

順位決定 : 予選リーグの順位により対戦相手を決定したトーナメント戦により
6チーム全ての順位を決定。

④【ゴールドッチ】部門

試合時間 : 1試合8分、前後半2セット ハーフタイム2分

予選 : 5チームで構成した1リーグ総当たり戦

順位決定 : ①予選リーグ順位3位vs4位による3位決定戦

②予選リーグ順位1位vs2位による決勝戦

4. 【最終成績】

①【ディスクドッチ】小学生低学年部門

優 勝	国領☆ハッチ	調布市
準優勝	ウエストシックス J r.	荒川区
3 位	柏野アクセルアローズ	調布市

②【ディスクドッチ】小学生部門

優 勝	三日ファイターズ	荒川区
準優勝	三小ビースター	調布市
3 位	ウエストシックス	荒川区

③【ディスクドッチ】オープン部門

優 勝	M. D. CチームA	武蔵野市
準優勝	染地・杉森ドッチピナーチーム	調布市
3 位	T T V	北区

④【ゴールドドッチ】部門

優 勝	明治大学フーファイヤーズ	大学生
準優勝	Happy Campers	社会人
3 位	新城 style	高校生

5. 【全体スケジュール】

8 : 30 ~ 9 : 20 参加チーム 受付

9 : 30 ~ 9 : 50 開会式・諸注意事項説明

10 : 00 ~ 12 : 24 予選リーグ戦 (10 : 00 第1試合 スローオフ)

12 : 24 ~ 13 : 24 一 斉 昼 食 / 休 憩

<12 : 30~13 : 40 第1体育館にてドッチディスタンス記録会>

13 : 12 ~ 15 : 24 決勝トーナメント戦/順位決定戦

<14 : 00~14 : 50 第1体育館にてゴールドッチ/ディスゲッター体験会>

15 : 24 ~ 16 : 24 各部門 決勝戦 (16 : 12 最終試合 スローオフ)

16 : 35 ~ 17 : 00 表彰式・閉会式

17 : 00 参加者解散

6. 【付帯イベント】 報告

●ゴールドッチ/ディスゲッタードッチ体験会 (報 告)

ディスクドッチ選手向けにゴールドッチの指導・体験会を、
また、新規提案のディスゲッタードッチ88ゲーム指導・体験会を、
それぞれ無料にて実施。

※ディスゲッタードッチは的当てゲームにて老若男女にかかわらず、手軽に
どなたでもおこなうことができるゲーム。

実施会場 : 第1体育館 第5コート

実施時間 : 14 : 00 ~ 14 : 50 (50分)

参加者数 : 約60名

●ドッチディスタンス記録会（報告）

本大会における参加希望チーム数が多かったため、本記録会の実施時間に制限を設けざるを得ず、以下の通り選抜方式を採用して実施。

選抜方法 : 本大会①～④全部門参加38チームから各1名をチーム代表者が当日、朝、受付で配布する記録証および登録書に記入のうえ、記録会実施時間内の参加部門の試合がない空き時間に試技をおこなう。時間内に来場がない場合、辞退と判断。

実施会場 : 第1体育館 第1/2コート

実施時間 : 12:30～13:40（70分）

参加者数 : 29名

横幅制限 : 15メートルにて実施

試技方法 : ひとり1分以内に3投し、最長試投を計測。
日本ドッチビー協会制定ドッチディスタンス・ルールに準拠。

計測方法 : 協会公認測距器を使用。
協会公認マーカー/受光板を使用。

結果として4名が日本記録を樹立。

日本記録 : 小学4年生 女子の部 岡本 真弥ちゃん（東京都調布市）
旧記録 22ㇼ97ㇼ 新記録 23ㇼ84ㇼ

小学5年生 男子の部 吉井 風真くん（東京都調布市）
旧記録 24ㇼ61ㇼ 新記録 26ㇼ83ㇼ

中学1年生 女子の部 江川 藍未さん（東京都足立区）
旧記録 25ㇼ06ㇼ 新記録 30ㇼ68ㇼ
※本記録は女子日本最高記録となりました。

高校3年生 男子の部 稲垣 健太氏（神奈川県川崎市）
10月1日変更新設部門 記録 27ㇼ18ㇼ

※カテゴリー及び記録一覧、またディスタンス・ルールの詳細などは協会ホームページをご参照ください。

7. 【講 評】

10月体育の日をからめた3連休の中日という日程でおこなわれたドッジビーコンペティション 第2回 関東大会 2014。

大会日程前後の天気予報では、超大型の台風が関東地方を直撃するとのことで、当初開催を危ぶむ声も聞かれ、実際に数件問い合わせをいただきましたが、結果として到来前となり雨が降ることもなく、無事大会は開催されました。

本大会は、広域ドッジビーコンペティション・シリーズの皮切りとなった【関東大会 2013】を継承する形で第2回関東大会 2014として開催され、遠くは群馬県のチームから、また神奈川県からも複数チームの参加もあり、関東大会の名にふさわしい盛況な大会となったことを嬉しく思っています。

また「1964年東京オリンピック・パラリンピック50周年記念事業」という大会サブタイトルにておこなわれました。

都内各所でおこなわれる10月体育の日周辺イベントが数多くこのタイトルを冠しておこなわれましたが、その効果として大会直前に、読売新聞より取材を受け、格好の事前告知となりました。



会場は以前に中域大会開催の実績もある明治大学附属明治高等学校・中学校をお借りすることとなりました。これは地元行政、調布市生活文化スポーツ部スポーツ振興課のご後援により実現したもので市関係各位には感謝いたします。



募集段階で懸念されたことに開催日程が1年中で最もイベントが数多く行われる時期であり、他行事を優先されるなどの影響で参加チーム数に不安がありましたが、結果として545名、38チームの選手にお集まりいただきました。それでも、やはり学校行事とかぶり、参加を断念します。といった残念な報告が複数ありました。



また同じ理由からスタッフ確保においての事情も同様で人数確保がままならず、全スタッフ40名と非常に少ない人数（第1回関東大会の半数）でおこなわざるをえず、当日は審判員をはじめ全スタッフの皆さんには大いなる活躍をいただき、誠にありがとうございました。

しかし、スタッフが不足しているという理由で参加者にご迷惑をおかけするわけにはいかず、運営面における準備打合せは過去に例がない回数おこない、協会主要メンバーにとっては良い経験、かつスキルアップになったと思います。

朝、続々と参加者が集合！
今回はバスを独自チャーターして参加したチームが複数あり、大型バスが3台会場に到着した様は壮観！！



事前打合せと準備の成果が受付はスムーズに進行。
タイムテーブルの通り、開会式も恙なく終了。



予定通り、10:00には第1試合スローオフとなり、試合が開始されました。

ディスクドッジ競技の小学生は低学年部門と学年制限を設けない小学生部門の二つを、その他、大人から子どもまで一緒おこなえる年齢制限を設けないオープン部門を設定。



ゴールドドッジ部門はいわゆる、おとな選手が中心ではありましたが、高校生や大学生、また社会人と多岐に亘る構成。中には小学生と一緒にプレーするチームも見られ、ドッジビーが目指し提唱する趣旨に沿うものであり、喜ばしいことでした。



どの部門の試合も熱戦でした。結果は別紙結果表を参照ください。



午後より、1コートをドッチディスタンス会場に転換しておこなった記録会では全4部門において日本記録が更新され、こちら也大いに盛り上がりました。この詳細は協会ホームページ10月22日付、最新のお知らせ-Information-

および本報告書、前章をご参照ください。

付帯イベントの体験コーナーでは空き時間を利用して楽しそうに遊ぶ参加選手たちの姿がありました。



大会会場にはドッチビーメーカー、Heroによる新作柄のドッチビーディスクの特価販売ブースが設置され、大盛況となっていました。



大会参加者には運営上の事情により15:00以降、協賛各社様より頂戴した参加賞が配布されましたが、こちらでも混乱することなく完了しました。

大会を終えての協会主要メンバー反省会で結果集計について、さらなる効率化を図るべき。表彰関係の充実化などの意見が出ており、今後、大会開催における財源確保が大きな課題である。との結論に達しました。



最後に、大きな事故なく終了できたことを喜ばしく思うとともに多くのご協力を賜った関係各位には、心より御礼を申し上げ、大会の報告といたします。ありがとうございました。
日本ドッチビー協会 代表 稲垣 敬雄

